



SCOUTING

2020
No.738
7



Scouting Never Stops!

日本連盟 新体制スタート
令和2年度 Web全国大会



CONTENTS

02 Scouting Never Stops!
06 令和2年度全国大会
09 全国ローバースカウト会議 (RCJ)
2020年度総会
10 創立100周年に向けて
日本連盟 理事長交代と常設委員会の
取り組み
14 スカウティングとSDGs
—一緒に考えよう! 持続可能な社会のために—
17 野外活動のための安心・安全講座
台風や豪雨から身を守る
18 第13回日本アグーナリー
18 信仰奨励
19 ボーイスカウトPRムービーコンテスト2020
19 スカウトの日
20 ローカルホットライン
22 維持会員
23 スカウトショップ

Scout Never Stops

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2020年4月7日に政府が発表した「緊急事態宣言」は、5月25日に全国で解除されました。しかしながら、完全に終息したわけではなく、都道府県ごとに状況は異なり、また、今後も第2波、第3波が起こりうるという状況が続いています。

まもなく迎える夏の活動も、例年どおりとはいきません。「新しい生活様式」に対応しながら一人ひとりが健康に留意し、スカウティングの歩みを進めていきましょう。

特別措置 進歩と進級について

新型コロナウイルスへの対応として、「Scouting Never Stops!」を合言葉に、スカウトの活動意欲（特に進歩に対する意欲）の低下を防ぎ、進歩を止めないことを目的とした特別措置をまとめました。

■ 進級章取得可能時期

BVS部門 学年が上がると同時にビッグビーバーになります。

CS部門 次の課程に上がった以降も活動自粛期間に合わせて一定期間を定め、並行して2課程の修得課目に挑戦できます。

BS部門 月の輪課程をCS隊ですべて履修できなくても、隊や班の活動において残りの細目に取り組むことができます。

VS部門 現高校3年生に相当する年齢のスカウトについては、富士スカウト章の日本連盟への申請期限を6か月延長します。ただし、今後の政府および自治体の措置によるスカウト活動の制限（2020年2月21日以降）を勘案して、さらに延長することを検討します。現高校2年生以下に相当する年齢のスカウトについては、上記活動制限の期間を勘案して申請期間の延長を検討します。

■ 技能章

それまでの成果（レポート、活動、実践等）や面接の内容を総体的に勘案して、各技能章の細目が示す水準に達しているかの判断をもって考査することができます。ただし、「実演」

ing



これまで、感染予防対策として活動の自粛継続をお願いしてきました。「緊急事態宣言」は解除されましたが、今後は「新しい生活様式」のもと、各地域で、安全で安心な活動を再開できるよう、地域状況に即した対応が必要になります。私たちはみな、事態の沈静化に向けて協力していかなければなりません。

皆さん、仲間とのコミュニケーションは十分にとれていますか？現代は、便利なツールがたくさんあります。連絡を取り合い、まずは互いに元気な様子を確認しましょう。

そして、「ちかい」と「おきて」の実践に努めましょう。今この時を、特別に与えられた時間として、自分自身のためだけに使うのではなく、スカウトの「ちかい」を意識して行動しましょう。また、困難なときや迷ったときにこそ、スカウトの「おきて」を一つひとつ思い起こし、行動してください。そうすることにより、スカウトとして、ゆるぎない心で他の人々を助けるよう、努めることができるでしょう。

スカウトには「ちかい」と「おきて」の他に、ビーバースカウトは「なかよし」、カブスカウトは「いつも元気」、そしてボーイスカウト以上は「そなえよつねに」というモットーもあります。私たちは、今なすべきことをしっかりと心に留め、現在の困難な状況の中でも私たちの生活を最前線で支えてくれている多くの方々にもいつも感謝の心もち、これからも日本のスカウト運動を世界に発信して仲間を増やしていきましょう。

私は、スカウティングの可能性を信じています。ユニフォームについている世界スカウト記章は、世界171の国と地域で活動する4,000万人の仲間の印です。私たちに多く仲間がいます。そして、このような状況下でも、世界のあらゆる場所で、より良い世界を創るために日夜努力しているスカウトがたくさんいます。

より良い世界を創るために、スカウティングの歩みを止めることなく、仲間と共にこれからも前へ進んでいきましょう。

日本連盟コミッショナー 福嶋 正己

「実績」「参加」「資格・認定等」「成果物」が必要な審査内容の細目について、審査が不可能な場合は

- ① 後日実施することを前提にする
- ② 同等の努力と能力を必要とする課題に代替することができます。

■ 審査基準および方法

審査の原則（規程7-33）および審査の基準（規程7-34）に即し、ウイルス感染防止に関する措置の下における制限および環境に合わせ、隊長の責任において、隊における特別な審査基準や審査方法を設けることができます。ただし、地区または県連盟における審査のある

進級（菊、隼）については県連盟コミッショナーまたは地区コミッショナーの設ける特別な審査基準や審査方法、日本連盟申請の必要な進級（富士）については日本連盟コミッショナーの設ける特別な審査基準や審査方法に沿うこととします。

なお、隊、地区および県連盟において特別な審査基準、審査方法を設ける際、「野営、ハイク等の野外での活動や複数人数が対面で実施しなければならない細目」については、活動制限の緩和に合わせて「後日実施すること前

提」として、「一定の成果および審査の計画」をもって審査することができます。

これらの特別措置は、

- ① 柔軟な対応
- ② 活動を通しての進歩
- ③ パトロールシステムの活用
- ④ 基準の維持
- ⑤ 特別措置の見直し

に留意して実施してください。詳細は日本連盟ホームページをご確認ください。



https://www.scout.or.jp/member/covid19_scout_advancement/



私たちの活動は、決して集まらなければできないものばかりではありません。一人でも、自宅でも、できることはたくさんあります。自粛期間中、全国各地で「# おうちスカウティング」をキーワードに、工夫を凝らしたさまざまな集会が行われました。

これまでに、皆さんが取り組まれた「# おうちスカウティング」をご紹介します。

隊や団による取り組み

動画を公開したり、オンラインで集会を行ったりと、内容に応じてさまざまな方法で活動に取り組んでいる、隊や団をご紹介します。

■ おうちでできるキャンプ飯

／大阪・吹田第6団

自宅でも活動できるよう、指導者がスカウトに向けて作成した動画をYouTubeで公開。たとえば、炊飯器を使わないご飯の炊き方を紹介する「おうちでできるキャンプご飯」や、工作とおやつ作りを一度に挑戦できる「わたがし機作成！」など、動画を見ながらスカウトが一人でもできるものや保護者と協力して挑戦できるものもあります。



■ おうちたいそう

／茨城・水戸第5団

ビーバー隊がオンラインや手紙を活用してさまざまな活動を展開。おうちスカウティング第4弾「おうちたいそう」では心も体も健康に過ごせるよう、指定された16個のポーズを真似して、その写真を隊長に送信。



活動後は、スカウトから届いた報告をまとめてWebに掲載しているのど、スカウトは仲間がチャレンジした様子も知ることができます。

ローバースカウトによる取り組み

おうちスカウティングでは、ローバースカウトからも多くの報告がありました。その中から、他の年代のスカウトに向けた活動支援と、同年代の仲間たちに向けたイベントの実施をご紹介します。

■ おうちスカウティング動画を配信

／愛知・愛知ローバース会議 (ARC)

「おうちスカウティング」をテーマに、自宅でのスカウト活動を支援する短編動画（主にビーバースカウトからボーイスカウト向け）をYouTubeで提供。現在、20本以上の動画を公開しており、愛知連盟のHPにもこれまでに公開した動画のタイトルや対象年代をまとめた紹介が掲載されています。



■ オンラインイベント「MOTI」

／全国ローバースカウト会議 (RCJ)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止になったRCJブロックイベントの代わりに、オンラインでの新しいイベント「MOTI (Moot On The Internet)」を4月18日(土)、19日(日)に開催。RCJとして今後の展開を模索している、ICTやオンラインの強みを活かした活動の展開、第一弾です。



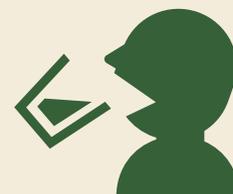
今年のムービーコンテストは、「おうちスカウティング」をテーマのひとつに設定しています。活動の様子を動画に撮り、ぜひ、ご応募ください（コンテストについてはP.19をご覧ください）。

なお、6月4日発信「新型コロナウイルス感染への対応について(第9報)」のとおり、野外での集会も3つの密を避けるなどの「新しい生活様式」に基づいた対策を講じた上での活動をお願いしています。また、今年の夏は特にマスクによる熱中症などにも注意が必要です。困難な状況は続きますが、さまざまなスカウト活動に取り組ましましょう。

「新しい生活様式と熱中症」

「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイントは以下のとおりです。

- ① 暑さを避けましょう
- ② 適宜マスクをはずしましょう
- ③ こまめに水分補給しましょう
- ④ 日ごろから健康管理をしましょう
- ⑤ 暑さに備えた体作りをしましょう



※高齢者、子ども、障がいのある方は、熱中症になりやすいので特に注意しましょう。

新型コロナウイルスに関する日本連盟からのお知らせ

その1 新型コロナウイルス影響下における青少年教育に関わる5団体による共同声明(要約)

青少年教育に関わる5団体(ガールスカウト日本連盟、ボーイスカウト日本連盟、東京YWCA、日本YMCA同盟、日本キャンプ協会)として、青少年の健全な成長のための諸活動が新型コロナウイルスの影響によって奪われている現状を危惧し、6月4日に共同声明を発表しました。

1. 新しい生活様式での青少年活動の再開

新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底して行い、新しい生活様式に沿ってプログラムを構築します。青少年の健全な心身の成長を重要と捉え、長い歴史の中で培った知識と経験を基に次の活動を再開します。

■ 青少年の自然体験活動

自然体験活動で育まれる友情、協調性、相互理解、信頼や尊敬心、興味や関心、他者や環境への思いやりの心は、子どもたちの健全な成長には必要不可欠であり普遍的で

■ 青少年の健全育成活動

次代を担う青少年の健全な育成は、社会全体の責任であると捉え、家庭や学校以外における青少年教育団体として、研修プログラムやボランティア活動を再開します。

2. 病気以外の感染も抑止

新型コロナウイルスによる不安や恐怖から

引き起こされる「嫌悪、差別、偏見」が、人々の心や家庭、社会に感染し、分断されていくことに強く警鐘を鳴らします。そして、その抑止力としてのプログラムを、再開するすべての活動に取り入れていきます。

3. 地域社会と連携

新型コロナウイルスによって失った青少年の体験活動の再開への取り組みは、社会全体の使命と考えます。この活動における、行政、企業、地域の各団体に協力、支援を呼びかけ、次代を担う青少年の育成に継続して取り組みます。

その2 ともに進もう助成 × もったいない寄付



■ ともに進もう(ひとり親家庭等応援)助成プログラム

日本連盟では、経済的な理由によりスカウト活動への参加が厳しいひとり親家庭に対して支援金を給付し、スカウト活動への参加を支援する「ともに進もう(ひとり親家庭等応援)助成プログラム」を行っています。昨年度は17県連盟77人のスカウトに助成を行いました。

今年度は、新型コロナウイルスによる経済への影響を考慮し、時期を早めて募集を開始します。

助成額 スカウト1人あたり年額3万円

対象者 日本連盟に加盟登録している、または新規に加盟するビーバースカウトからボーイスカウト

応募方法 団および県連盟の推薦を得て申し込む(継続申請は一部手続きが異なる)

審査 提出書類により一定の条件を日本連盟が審査し、結果に基づき助成を行う

▶ スケジュール

申請受付 7月1日(水)～7月31日(金)

結果通知 8月25日(火)予定

助成金送金 8月末予定

■ もったいない寄付

「もったいない寄付」としてお送りいただいた書き損じハガキ等を換金し、「ともに進もう助成」の資金にしています。毎年、多くの皆さまにご協力いただいておりますが、まだまだ原資が不足しています。

自宅や勤務先などに書き損じハガキや未使用のハガキがありましたら、ぜひ日本連盟にお送りください。さらに、本やゲームなどの不用品を「ブックオフ」に買い取ってもらうことで、その買い取り金額を「ともに進もう助成」の資金として寄付していただく方法もあります。

それぞれの詳細は、日本連盟ホームページをご確認ください。



<https://www.scout.or.jp/member/tomosusu2020/>



もったいない寄付
<https://www.scout.or.jp/member/mottainai2020/>



モノでもったいない寄付
<https://www.scout.or.jp/member/mottainai-mono/>

Scouting
Never
Stops!



日本連盟では、新型コロナウイルスに関する方針等を日本連盟ホームページに掲載しています。随時更新してまいりますので、最新情報はホームページをご確認ください。

<https://www.scout.or.jp/member/scouting-never-stops/>



令和2年度 全国大会

Creating a Better World



5月30日(土)に令和2年度全国大会を初のオンライン形式で開催しました。全体会と全国スカウト教育会議(テーマ集会)を生配信。事前に呼び掛けた動画企画にも、たくさんの方にご参加いただき、大変盛り上がりしました。

参加者もスタッフも別々の場所にしながら、全体会は最大同時接続人数1,414人、大会当日と翌日の2日間で再生回数8,309回(全体会生配信を含む)と、多くの方にご視聴、ご参加いただきました。

来年度の全国大会は、静岡・熱海市で開催します。



日時: 5月30日(土) / 方法: オンライン開催(現在も公開中。詳細は P.8 末尾に掲載)

主催: ボイスカウト日本連盟 / 開催協力: 日本ボイスカウト神奈川連盟

全体会

全体会を日本連盟 Youtube チャンネルで生配信し、司会進行は神奈川・藤沢第20団の平子ローバースカウト、コメント紹介を神奈川・横浜第87団の渡邊ボーイ隊長が務めました。



「おきて」の唱和

奥島前理事長と岡谷新理事長の挨拶に続いて、日本連盟の総裁および総長の就任等、役員人事を紹介。その後、衆議院議員の逢沢 BS 振興国会議員連盟会長と小泉環境大臣よりご祝辞をいただきました。

そして、福嶋日本連盟コミッショナーから、年間の活動のほか、全国一律の活動自粛解除以降の取り組み方を含めた活動方針についてお話ししました。愛知・名古屋第29団ベンチャー隊の河津スカウトと手嶋スカウトによる演奏に全国の皆さんから動画で寄せられた歌声をのせたテレワーク・ハーモニーでは、第17回日本スカウトジャンボリーテーマソング「能登のチカラ未来へ」を披露。



ボイスカウト・アンバサダーの野口 JAXA 宇宙飛行士からスカウトへのメッセージの後は、神奈川連盟のベンチャースカウトによる動画「ベンチャースカウト 最後の春」。コロナ禍で想定していなかった状況におかれながらも、前を向いて懸命に進んでいるスカウトの姿に、YouTube 上でも「かっこいい」などのコメントが寄せられました。

全国大会ハンドオーバーセレモニーで、藤本神奈川連盟理事長より来年度開催県の村松静岡県連盟理事長に全国大会を引き継ぎました。

今大会は、オンライン開催のメリットを活かし、全国の皆さまにお送りいただいたひと言動画「Scouting Never Stops!」やテレワーク・ハーモニー、「おうちスカウティング動画」などにより、スカウトの笑顔あふれる会になりました。

→ P.10に岡谷新理事長、P.11に奥島前理事長挨拶(要約)、P.3に福嶋日本連盟コミッショナー講話(要約)掲載

1. Web 全国大会趣旨説明
澤 Web 全国大会プロデューサー/
日本連盟社会連携・広報委員長
2. 「おきて」の唱和
神奈川連盟所属ローバースカウト
3. 歓迎の挨拶
藤本 神奈川連盟理事長
4. 挨拶
奥島 前日本連盟理事長
岡谷 新日本連盟理事長
5. 役員紹介
6. ご祝辞
逢沢 ボイスカウト振興国会議員連盟会長/
衆議院議員
小泉 環境大臣
7. 日本連盟コミッショナー講話
福嶋 日本連盟コミッショナー
8. テレワーク・ハーモニー
9. 表彰
10. スカウトへのメッセージ
野口 ボイスカウト・アンバサダー/
JAXA 宇宙飛行士
11. # おうちスカウティング動画
「ベンチャースカウト 最後の春」など
神奈川連盟所属ベンチャースカウト
12. 記念品紹介
13. 神奈川連盟の歴史
14. ハンドオーバーセレモニー
藤本 神奈川連盟理事長
村松 静岡県連盟理事長
15. 連盟歌斉唱



ベンチャースカウト 最後の春



テレワーク・ハーモニー
「能登のチカラ未来へ」



おうちスカウティング動画

表彰

- (1) 公共奉仕役 / 9 隊
- (2) スカウティング褒章 / 1 人
- (3) 褒状 / 3 人、
団委員長、隊長表彰 / 49 人
- (4) 感謝盾 / 5 人
- (5) 特別感謝章 / 2 人
- (6) 日連感謝章 / 6 人
- (7) 感謝状 / 17 人、13 企業・団体
- (8) 維持会員協力依頼額達成県連盟 / 38
県連盟
- (9) きじ章 / 2 人
- (10) たか章 / 45 人
- (11) かつこう章 / 89 人

組織拡充顕彰

- (1) スカウト加盟員数および加盟員総数の
増加 / 13 県連盟
- (2) ビーバースカウト隊設置数 / 5 県連盟
- (3) 優良団 S ランク / 6 県連盟 10 団、
A ランク / 24 県連盟 84 団体



逢沢 一郎 BS 振興国会議員連盟会長・衆議
院議員（要約）

新型コロナウイルスにより、大変な日本になりました。

今まで皆さんも経験したことがない状況に遭遇していますが、今は家の中で勉強しながらしっかりと我慢し、また野外活動が思う存分できる日を楽しみに、みんなで頑張りましょう。

そして、アグーナリーも延期になりましたが、障がいもちながら、スカウトとしての誇りをもって頑張っている皆さんと、これからも新しい世界を創っていききたいと思います。

世界中の仲間が心をひとつにし、今回の経験を共有しながら、より素晴らしい平和で明るい世界を創るために、最後まで頑張りましょう。



小泉進次郎 環境大臣（要約）

まず、全国大会の Web 開催という、新しい挑戦に、心から敬意を表します。

スカウトの皆さんが子どものころから海や自然を大切に、「そなえよつねに」という自立した精神を育て活動されていることは、大変嬉しいことです。

今、環境省は全国の国立公園などで、地球をよくするためにいかに取り組めるか、CO₂の排出を減らして脱炭素型の社会をどう作っていくか、といった SDGs の取り組みをボーイスカウトの皆さんと一緒にしています。

これからも「新しい時代に新しいチャレンジ」をしてください。



黒岩祐治 神奈川連盟連盟長・神奈川県知事

受章者を代表してご挨拶申し上げます。

この度は、名誉ある「たか章」を受章させていただき、大変光栄に存じます。これもひとえに昭和 24 年の創立以来、神奈川連盟の活動を支えていただいた関係者の皆さまのおかげです。改めて心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策で、神奈川県に多くの皆さまをお迎えして全国大会を開催することができず残念に思いますが、一日でも早く、存分に活動できる日がくることを願っています。

最後に、皆さまの益々のご健勝とご活躍を心からお祈りし、私の挨拶といたします。





野口 聡一 ボーイスカウト・アンバサダー／
JAXA 宇宙飛行士

全国のスカウトと保護者の皆さん、こんにちは。
令和2年度全国大会の開催、誠にありがとうございます。今回の全国大会は、私の出身地である神奈川県が舞台ということで大変楽しみにしていましたが、昨今の新型コロナウイルスの状況により、パチャルな形での開催とお聞きしました。

ボーイスカウトの皆さんは、なかなか普段どおりに活動できない、あるいは社会奉仕活動ができないという状況で、いろいろと苦勞されていると思いますが、一致団結してこの厳しい状況を乗り切って、今後の活動にぜひ繋がっていただきたいと思っています。

現在、私はアメリカ・ヒューストンにあるNASAの宇宙センターで訓練をしています。今年の夏から秋にかけて実施予定の宇宙ミッション、アメリカが開発している民間の宇宙船スペースXのクルードラゴンに乗って、3度目の宇宙ミッションに臨む予定です。宇宙からまた皆さんとお話できるといいなと思っています。それでは、皆さん、頑張ってください。



関連会議

関連諸会議は、中止または別日程にオンライン等で一部開催しました。

- 全国ローバースカウト会議 (RCJ) 総会／
5月23日(土) 13:00～15:00
→ P.9に RCJ 総会報告掲載
- 定時評議員会／
5月28日(木) 15:00～17:15

コメント紹介

皆さんに、自粛中に取り組んだことや今後に活かしたいと思ったことなどを、ツイッターで[#ボーイスカウト全国大会]をつけてつぶやいていただきました。このつぶやきや YouTube に書き込まれたコメントなどを全体会でご紹介しましたが、今号でも少しご紹介します(一部編集しています)。



- 初めての全国大会参加がオンラインになるとは、ビックリ!
- 早くみんなでキャンプに行きたい
- 無事に Web 全国大会できて本当に良かったです
- ポーランドのスカウトと Zoom で交流しました
- 少しでもスカウトの輪が広がることを期待しています
- ベンチャー隊が企画したオンライン集会「ベンチャーと遊ぼう!」で、楽しみました。会えないけど会えた、いつもとは違う貴重な体験でした
- おうちでもスカウティング頑張っています



全国スカウト教育会議(テーマ集会)

全国スカウト教育会議(テーマ集会)を、全体会に続いてオンライン(Google Meet)で開催。事前に参加申し込みいただいた998人の参加者が、各委員会等による11のテーマに分かれ、テーマごとにさまざまなスカウト活動の研究、意見交換をしました。



- 1 もっと伝えよう! スカウティングを ～私たちが仲間を増やすためにできること
- 2 コロナに負けない活動、自粛期間での進歩への取り組み
- 3 大人の役割を楽しく、わかりやすく研修できる! 新ボーイスカウト講習会、ウッドクラフトコースの概要
- 4 海外派遣のすすめ ～VS からRSの皆さんへ～
- 5 今すぐできる Web 活用術
- 6 色んなツールを使った #おうちスカウティング活用術
- 7 これからの「セーフ・フロム・ハーム」について
- 8 ぴーっぴっぴっぴっぴ。これからローバー活動する人のためのローバーセミナー + 重要告知!
- 9 おうち de スカウティング ～歌って踊ってプロジェクト～
- 10 心の密を深めよう ～次世代につなげるスカウト運動を考える～
- 11 日本連盟の経営の状況と改革の方向性

全体会は、日本連盟公式 YouTube チャンネルで引き続き視聴可能です。また、テーマ集会は、申し込みによる限定公開を行っていますので、日本連盟ホームページで詳細をご確認ください(公開期限: 7月31日)。今回の Web 全国大会を機に、日本連盟では全国の皆さんにご参加いただけるオンラインを活用した事業展開等を今後も検討してまいります。



<https://www.scout.or.jp/r2zt/>



全国ローバースカウト会議 (RCJ) 2020年度総会

日 時：5月23日(土) 13:00 ~ 15:00 / 場 所：全国各地(オンライン開催)

参加者：県連盟代表37人(代理3人を含む)、2019年度RCJ運営委員10人、2020年度運営委員応募者3人

参席者：日本連盟プログラム委員等6人

■ 議案

- 【第1号議案】2019年度事業報告および会計に関する件(報告事項)
- 【第2号議案】全国ローバースカウト会議3か年目標に関する件
- 【第3号議案】運営委員会の編成に関する件
- 【第4号議案】2020年度以降の事業計画および2020年度予算案に関する件

今年度の全国ローバースカウト会議(RCJ)総会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、オンライン会議サービス(Zoom)を利用して開催しました。

事前にリハーサルを重ねた2019年度運営委員のスムーズな進行により、県連盟代表(代理含む)37人が参加し、各議案をそれぞれ賛成多数で承認しました。

今年度の運営委員は、各ブロックから選出されたブロック代表委員6人のほか、前年度からの留任者2人と、運営委員立候補者3人が賛成多数で承認され、計11人で運営していくこととしました。



■ 2020年度RCJ運営委員会

- 議長 尾形 凜太郎(留任/宮城・仙台第2団)
副議長 原 瑛(留任/愛知・名古屋第91団)
副議長 安齋 会香(北海道・東北ブロック代表/福島・須賀川第1団)
委員 白澤 唯(関東ブロック代表/栃木・壬生第1団)
委員 柴山 美光(中部ブロック代表/愛知・名古屋第109団)
委員 小川 雄暉(近畿ブロック代表/京都・京都第43団)
委員 餘多分 裕人(中国・四国ブロック代表/広島・安佐第4団)
委員 荒岡 草馬(九州・沖縄ブロック代表/福岡・福岡第19団)
委員 岡本 陸(選挙枠委員/茨城・桜川第1団)
委員 枝迫 雄大(選挙枠委員/東京・世田谷第10団)
委員 砂田 憲廣(選挙枠委員/愛知・みよし第2団)

■ 議長挨拶



宮城県連盟 仙台第2団
尾形 凜太郎

RCJは「川」のようなものだ。カヌーが通れるよう、今まで必死に作り上げてきた川である。9年を経て、おおかた完成した。さあ、たまたま通りかかった見知らぬ若者の目に、その「川」はどのよう映るのか。

RCJは今、転換期にある。もはや単なる情報共有の組織ではない。内部関係者だけの親睦組織でもない。このかつて世界が経験したことのない、パラダイムの転換のなかで、RCJという18歳から25歳の年代によるスカウト組織の価値を、意味を、存在理由を、構成員が考え、言語化しなければならない。

RCJはこれからである。他流試合のなかで自分たちを知り、絶望することだ。他者との遭遇、受容こそが内的成長の鍵である。自己の価値観に合うものだけの吸収は満足かもしれないが、いずれは上限に漸近だ。自己と相反する他者と衝突し、苦悩葛藤する。その中で自身を鳥瞰し、組織の価値を再認識できる。RCJはその局面に差し掛かっている。

進むべき先は見えている。Creating a Better World by rovers. 構成員全員が一歩ずつ前へ。私は、このような覚悟と飢えをもって、議長を拝命した。



RCJに関する情報は、
こちらをご覧ください。

<https://rcjweb.jp/>

RCJ公式LINE@でもローバー年代向けの最新情報を配信しています。ID: @roveringjapan で検索してください。

RCJフォーラム2020開催!

昨年、台風直撃の恐れがあったことから、やむを得ず中止とした「RCJフォーラム」を、今秋開催いたします。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今回のRCJフォーラムは初のオンライン開催を予定しています。全国のローバースカウトおよび同年代指導者の方々は、ぜひご参加ください。

日 時 **9月20日(日)、21日(月・祝)**

各日 コアタイム/10:00~18:00、任意/18:00~22:00

開催方法 **オンライン**(Zoom、Google Meet等のツールを使用した開催を検討中)

※参加者は、通信量や時間に制限のないWi-Fi等通信環境と、オンライン会議サービス(Zoom、Google Meet等)に対応したパソコン、タブレット、スマートフォン等のデバイス(カメラ付き推奨)を各自準備。

テーマ **REMOVE THE LIMIT ~なりたい自分に向かって~**

申込締切 **7月27日(月)日本連盟事務局必着**



詳細は、日本連盟HP等でご確認ください。

<https://www.scout.or.jp/member/rcjforum2020info/>

創立100周年に向けて

日本連盟 理事長交代と常設

日本連盟創立100周年まで、いよいよあと2年。100周年に向けて、日本連盟は新たなスタートをきります。

奥島孝康氏が10年間務めた理事長を退任し、岡谷篤一氏（岡谷鋼機株式会社代表取締役社長）が新理事長に就任しました。奥島氏は長年空席だった総長に推戴され就任。総裁には経団連会長を務め、現在は名誉会長の御手洗富士夫氏（キャノン株式会社代表取締役会長兼社長 CEO）が推戴され、2021年度からの就任が決まりました。総裁、総長、理事長の3役が揃うのは20年ぶりです。

また、理事も大幅に若返り、常設委員会も新メンバーで動き出しました。今年度は困難な状況でスタートしましたが、各方面さまざまなアイデアで乗り切ろうとしています。ボーイスカウト運動の発展のため、全加盟員が気持ちをひとつにして、歩みを進めていきましょう。



日本連盟 理事長就任のご挨拶

日本連盟理事長

岡谷 篤一

おやか とくいち / 1944年生まれ。熱田神宮総代や名古屋商工会議所会頭等に従事し、現在は岡谷鋼機株式会社および岡谷不動産株式会社の代表取締役社長のほか、創業200年以上の老舗企業が加盟する国際組織「エノキアン協会」会長を務める。愛知連盟では理事、理事長を経て2011年より連盟長に就き、日本連盟では理事として特別委員長等を務め、共済制度創設に貢献。2020年5月28日、日本連盟 理事長に就任。

この度、2010年から10年間の長きにわたり、理事長を務められ、数多くの功績を残されました奥島前理事長の職を引き継ぐことになりました。改めて、奥島前理事長の献身的なご活躍に御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

第11代理事長就任にあたり、浅学非才でありお役に立てるか私自身が心配しております。指導者の皆さま、そしてスカウトの皆さんのご支援とご協力をお願い申し上げます。2年後の2022年に控えた日本連盟創立100周年には、連盟の新たなスタートをきることができればと思っています。

日本連盟は、加盟員減少に伴う財政と組織の改革に取り組んでおり、その実現に多くの皆さまが献身的な努力を続けておられます。今後も皆さまの積極的な参画をお願いしたいと思います。

戦後団塊世代の70年前には、1年間の出生人数は250万人超、昨今は90万人を切る状況で少子化への大きな変化があり、大都会への人口集中もあります。このような中で組織が成長を続けるには、時代とともに変化させるべきこと、変化させてはいけないことを各々明確に認識することが大切です。すなわち、変えてはいけないことは、活動の原点である「自然の中でスカウトの仲間たちと技術や知識を楽しく学ぶ」ことであり、改めて原点回帰の努力をしたいと思います。

都会の中、ビル街での活動になってはいないでしょうか。自然のある

地域での活動が伸びているかと思うとそうでもないように思います。人口の多い都会県連盟だけでなく全国の県連盟に目を向け、育成することにより注力したいと思います。

その他の多くは、時代に合わせて変化させないと生き残ることは難しいでしょう。その変化を牽引するのは、感性あふれる若い力だと確信しています。近年は多くのローパーがさまざまな場で活躍しており、日本連盟や各県連盟とも一緒になって新しいボーイスカウト運動作りを手伝ってほしいと思っています。

また、現在、世界において新型コロナウイルスによる感染症が猛威を振るっており、私たちの活動も残念ながら自粛せざるを得ない状況が長く続きましたが、そのような状況下においてもインターネット配信による全国大会を開催するなど、多くの方のご協力を得て全国がつながることができました。今回の全国大会のようにデジタルトランスフォーメーションを活用し、日本連盟のインターネットインフラを整備して、日本全国だけでなく世界中により多くのスカウト仲間を作ることができればと思います。

私自身も戦中生まれで決して若くはなく体力はありませんが、気力を充実させて日本連盟の若返りのお手伝いをしたいと思います。朝令暮改、失敗を怖れずに挑戦して使命を果たしたいと思いますので、今後ともよろしくご厚誼いただければ幸いです。

(2020年5月30日 全国大会より)

委員会の取り組み

日本連盟 理事長退任のご挨拶

日本連盟総長

奥島 孝康

おくしま たかやす / 1939年生まれ。愛媛県連盟宇和島第1隊、早稲田大学ローパスでスカウト活動に参加。37歳で早稲田大学法学部教授に就任し、その後、早稲田大学第14代総長を務めたほか、公益財団法人日本高等学校野球連盟会長、NPO 富士山クラブ理事長等を歴任。2010年から2020年まで10年にわたり第10代日本連盟 理事長を務め、2013年から学長を務める白鷗大学に大学ローパー隊（小山第6団）を設立。栃木・小山第6団団委員長、東京連盟 連盟長。日本連盟 理事長を退任し、2020年5月28日、日本連盟 総長に就任。



私が日本連盟の理事長に就任してちょうど10年になりました。これまでボーイスカウト以外にもさまざまな役務を担ってきましたが、長いものでも10年でその役目を終えてきました。ここで、ボーイスカウト日本連盟の理事長の職もこの10年をもって一区切りとさせていただきたいと思えます。

10年という長い月日のなかで、私としては「もっと自分で体験する、体験を中心とした訓練を行うべきだ」ということを、かねてから考えておりました。そのことを再三再四、強調してきたつもりです。つまり、「ウッドクラフト」と「パトローリング」の2つを中心に、野外を中心とした体験の活動をするということを心がけてきました。

我々が考えなければいけないのは、「Creating a Better World」です。多くの人にとって、より良い世の中を作っていく一助になることを目指すのが本来のボーイスカウト運動であったと思いますが、いつの間にか自分たちが楽しむことに限られてきてはいないでしょうか。

ウッドクラフトやパトローリングという考え方による活動が、楽しくてしようがないという体験になり、その人だけでなく世の中にとっても良いこ

とにつながります。ですが、この運動そのものがどこか歪曲されてしまい縮小してしまっている、そういったパッションを生み出せなかったということとは非常に残念なことです。

私としては、これからこの運動をさらに大きくしていくためには、新しい風、新しい息吹を入れていく必要があると考えます。大変申し訳ないことに、私がこの10年で十分に耕しきれなかったこの土地を、引き続き耕していただくために、岡谷新理事長に望みを託したいと思えます。

あらゆることを経験なさってきた岡谷新理事長には、また新たにボーイスカウト運動を盛り上げていただきたいと思えます。そして皆さんには、どうかその後押しをお願いしたいと思います。皆さんの力強い後押しや激励が岡谷新理事長を力づけ、その指導力を発揮していただくことになるでしょう。

皆さん、新しい理事長のもとで気分を一新して、新しいボーイスカウト運動に取り組んでいきましょう。

(2020年5月30日 全国大会より)



Be Prepared



日本連盟 常設委員会

日本連盟には8つの常設委員会(2年任期)があります。常設委員会はそれぞれに役割を担い、特別委員会とともにボーイスカウト運動発展のため相互に協働します。本年5月より、2022年に迎える日本連盟創立100周年に向けた重要な任期となる委員会が新体制となり動き始めました。今号では、8つの常設委員会が取り組む今年度の事業指針を各委員長からご紹介いたします。

■ 団支援・組織拡充委員会



委員長
木村 寿宏
(神奈川)

団支援・組織拡充委員会の使命は、加盟員の確保と組織拡充に関する事、スカウト運動の普及に関する事、各団の組織拡充への支援に関する事の3点です。

2019年度に続き、今年度の事業計画にも、重点施策として「加盟員拡大・組織拡充・中途退団抑止に向けた取り組み」があります。

当委員会では、具体的に

① 加盟員拡大と未組織地域の新団発足を旨とする「組織拡

充モデル県連盟」のさらなる推進

② 県連盟組織拡充担当委員長会合を通じた加盟員拡大とスカウト運動の普及に関する研究の推進

③ 社会連携・広報委員会および中途退団抑止特別委員会と連携した3委員会協働による県連盟への総合的支援の推進

について、全国の皆さまと手を携えて取り組んでまいります。ご協力のほど、お願いいたします。

■ プログラム委員会



委員長
榑原 孝治
(愛知)

プログラム委員会では、日本連盟創立100周年に向けた長中期計画の行動計画より、主に以下の項目について推進してまいります。また、各種施策および事業展開においてSDGsの各目標達成に寄与できるよう、当委員会においても取り組んでいきます。

【今年度タスク】

- スカウトの積極的な活動と部門プログラムの活性に寄与する支援を行う。
- 現状の青少年の発達段階や学年制などを考慮した部門の見直しを進める。
- 企業や団体との連携、バッジシステムやプログラムパッケージの共同開発と提供を行う。

▪ すべての部門での野外活動の拡大を図り、屋外プログラムパッケージの開発と提供を行う。

▪ APR、WOSMとの関係強化を図り、RS年代の成人参画と人材育成を進める。

▪ WOSMの発信する「World Scout Youth Programme Policy」に則したプログラムの促進および見直しを進める。

▪ **緊急** 活動自粛期間中におけるプログラムの取り組み、進歩の促進について支援を行う。

■ 指導者養成委員会



委員長
大久保 秀人
(東京)

指導者養成委員会では、約600人のトレーナーを統括するディレクターチームと協働して、隊や団の指導者の皆さまへの訓練や支援を充実させ、指導者の皆さまが自己成長することによってスカウトたちに素晴らしい活動を提供できることを目的とし、委員会を運営しています。

今年度はさらにコミッショナーとの協働を推し進め、団とコミッショナーの訓練の充実をはかるとともに、今の社会に適した訓練や支援を検討してまいります。また、トレーナ

ーの制度の見直しを行うことにより、さらに質の高いトレーナーが指導者の皆さまの支援をできるようにしてまいります。

Adults in Scouting World Policy (AIS) のさらなる理解と周知を推し進め、特にアダルトライフサイクルに沿った成人の活用を行い、さまざまな役務を担う成人の皆さまへの支援と訓練を充実させるべく、今後も当委員会は停滞することなく前へ進み続けてまいります。

■ 国際委員会



委員長
笹淵 真子
(東京)

スカウト運動は、世界171の国と地域で行われ、4,000万人以上の仲間がいます。

国際委員会は、日本のスカウトを世界へ、そして世界のスカウトを日本へつなぐ委員会です。2020年度は、予定しておりました海外派遣等国際行事が中止または延期という、今までにない状況を迎えております。しかし、そのような状況下においても各国の取り組みから学び、共に協力しながら新たな国際交流を考え、国際理解を進めてい

たはなりません。

ビーバースカウトやカブスカウト世代から世界の一員であることを知るプログラムに取り組み、ボーイスカウトやベンチャースカウトで国際感覚を身につけ、ローバースカウトは国際協力を学び実践し、日本のスカウトが世界で活躍できるように支援します。「日本全体で『Next generation』を世界に。」を合言葉にスカウトの可能性を一緒に広げていきましょう。

■ 社会連携・広報委員会



委員長
澤 朋宏
(愛知)

私たち社会連携・広報委員会のタスクは、その名称どおり「地域社会との連携を深めること」と「本運動の広報に努めること」のふたつ。新型コロナ禍による活動自粛の中で迎えた今年度は、いつにも増してその重みが増していると感じを引締めしております。

これまで推し進めてきた新広報戦略「10本の矢」を改定しながら継続普及し、この運動の認知度を高め、入団者増に資することを基本に、【社会に向けた広報】と【組織内での情報流通の促進】とに取り組んでまいります。

また、団支援・組織拡充委員会、中途退団抑止特別委員

会との3委員会協働による、各県連盟へのさまざまな支援を通じて、全国の活動がより充実し魅力を増していけるよう努めてまいります。

この数か月間、全国の各団が活動をどのように継続しようかと苦慮されたことでしょう。コロナ禍後に元に戻すのではなく、今回知り得たことを従来の活動に加え、今年が本運動にとっての「第二のスタート」になればと願っております。

ピンチを、チャンスに。皆さんとともに、変えてまいります。

■ 「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会



委員長
水戸守 雅之
(大阪)

「セーフ・フロム・ハーム」安全委員会では、「安全はすべてに優先する」「スカウトの笑顔のために」を目指し、委員会一丸となって常にこれらを追求したいと考えております。

2019年度は、残念ながらスカウトが直接被害を受ける「セーフ・フロム・ハーム」に関する出来事が数件発生し、急遽、日本連盟コミショナーより「指導者バディルールの通知」が出されました。

このようなことが今後二度と起きないように、当委員会では登録前研修（eラーニング）のさらなるブラッシュアップ、「セーフ・フロム・ハーム対応規程」を含めたガイドラインの作成、参加者討論型のフォーラムやセミナー等の開催、

スカウト向け教材の開発等を考えております。

また、「持続可能な開発目標（SDGs）」についても「思いやりの心を育む」観点で研究、検討し、ガイダンス等を作成するほか、継続事業として実施している参加者討論型の「安全促進フォーラム」についても内容を発展させていく予定です。

そして、スカウトに安心で安全な活動を提供し、スカウトの笑顔と保護者や社会からの信頼を得たいと思っております。



■ 財務委員会



委員長
和田 剛和
(宮城)

これまで日本連盟は、2017年に策定した「財政ビジョン」に取り組んでまいりました。しかしながら加盟員減少に歯止めがかからず、さらには、この新型コロナウイルス感染症の影響も大きく、将来の財政バランスを保つためには、「新・財政ビジョン」を策定しなければならないと考えております。

単に登録料改定でしのぐのではなく、登録料収入が減少する将来の可能性を視野に、事業や業務について、日本連盟事業予算の全面的な見直し、そして事務局の「働き方改革」を含めた管理費の全面的な見直しを行い、できる限り支出を抑える必要があると考えます。また、エンタープライズの経営の透明化によって安定的な経営を図ると同時

に、保有金融資産の活用や企業寄付の獲得による、新たな収入の確保を目指します。

スカウト運動を広げるため、そして皆さまの安心したスカウト活動のため、それを担う日本連盟の安定した財政基盤を見据え、さまざまな事案に積極果敢に取り組んでまいり所存です。

今だからこそ、さらに「感謝の心」をもって、全力を尽くしてまいります。

皆さまのご指導、ご協力を今後ともよろしくお願い申し上げます。

■ 信仰奨励委員会



委員長
村上 智真
(山口)

仰奨励委員会は、今年度、スカウトの信仰を奨励するために、主に次の取り組みを検討していきます。

- 授与基準のない教宗派でも宗教章がとれる仕組みについて
- 指導者向けの宗教章について
- 宗教関係者の会の活用について
- スカウト活動での「信仰奨励」の具体的な活動例や宗教章へのいざないの方法の提示について

- ビーバースカウトおよびカブスカウトへの信仰奨励について

また、宗教関係代表者会議、宗教関係者の会と協働して、スカウトと指導者が明確な信仰をもつことができるように進めていきたいと考えます。

スカウティングとSDGs

一緒に考えよう！ 持続可能な社会のために

持続可能な開発目標（SDGs）は、先進国と途上国が丸となって達成すべき17の目標と169のターゲット（具体的な取り組み）で構成されています。

本誌ではこれまででも、私たちにできる取り組みなどをご紹介してきましたが、今号では、改めてSDGsの「17の目標」それぞれが目指す内容をご紹介するとともに、目標4「質の高い教育をみんなに」に関する活動の取り組み例をご紹介します。

SDGsを支える要素

SDGsの目標とターゲットは、「人間」「豊かさ」「地球」「平和」「パートナーシップ」の5つの分野で、目標達成に向けた行動を促します。

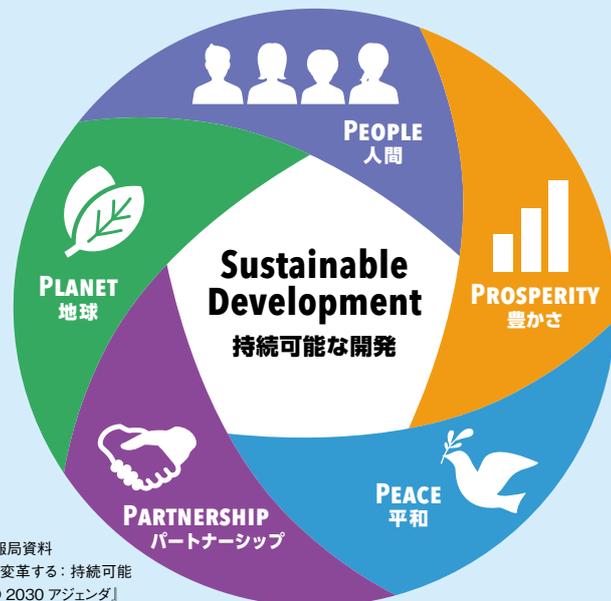
人間【People】 あらゆる形態の貧困と飢餓に終止符を打ち、尊厳と平等を確保する（目標1、2、3、4、5および6）。

豊かさ【Prosperity】 自然と調和した、豊かで充実した生活を確保する（目標7、8、9、10および11）。

地球【Planet】 将来の世代のために、地球の天然資源と気候を守る（目標12、13、14および15）。

平和【Peace】 平和で公正、かつ包摂的な社会を育てる（目標16）。

パートナーシップ【Partnership】 確かなグローバル・パートナーシップを通じ、アジェンダを実施する（目標17）。



参考：国連広報局資料
「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」

17の目標

すべての目標に一度に取り組むのは難しいかもしれませんが、17の目標が目指す内容を一つひとつ理解することで、自分にできることを考え、活動や生活の中で取り組めることから実践しましょう。

1. 貧困をなくそう

SDGsの根幹にある、主要な目標のひとつです。お金がないために不自由な生活をしている人を減らし、食べ物が手に入らないために命を落とす子どもをなくすことだけでなく、男女が平等に雇用される機会を増やし、安心して生活できる場所や病院、金融などの生活に必要な基本的サービスを確保することも含まれます。

2. 飢餓をゼロに

貧困をなくすという大きな目標の中で、特に食料や農業生産に関する目標です。長い間食べることができず栄養不良になる飢餓状態をなくし、すべての人が栄養のある十分な食事をとれるようにすることを目指します。また、気候変動や極端な気象現象などにも強い農業を実践し、生産性の向上や生産量を増加させることも重要です。

3. すべての人に健康と福祉を

健康の確保と福祉の促進が目標です。病気の予防と適切な治療、出産支援、薬やワクチンを入手できる社会の実現が求められます。病気だけでなく事故によるケガや死亡者を減らすこと、空気や水、土の汚染を減らすこと、薬物やアルコール等有害物の乱用防止や治療の強化などもこの目標に含まれます。

4. 質の高い教育をみんなに

誰もが平等に質の高い教育を受け、あらゆる機会に学習できることが目標です。持続可能な開発にとって最も有効な手段である教育を平等に受けることで、貧困状態から脱却し、自立した人生を送ることができます。安全で通いやすい学校設備を整え、教師を確保し、ジェンダー差別や貧富の差をなくすことが必要です。

5. ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダーの平等は自身の能力を最大限発揮するために必要不可欠です。世界には、性別を理由に平等な機会が与えられない状況があります。女性や女兒が「身体的」「精神的」「性的」に傷つくことをなくし、家事労働が評価され、妊娠や出産に関する女性の権利が守られ、政治や経済などに平等に参加することが目標です。

6. 安全な水とトイレを世界中に

すべての人が下水やゴミ処理などの衛生設備が整った環境で暮らせること、水の再利用に取り組むことで、安全な水や衛生環境を確保し、管理することが目標です。これらの解決と貧困の解決は大きく関係します。水に関連する生態系（山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼など）の保護や回復も含まれます。



**7. エネルギーをみんなに
そしてグリーンに**

従来のエネルギーのものである化石燃料は、生活を快適にする一方、燃焼することで発生した二酸化炭素 (CO₂) が地球温暖化の要因になります。環境に優しい再生可能エネルギーの利用を増やし、安価に安定したエネルギーを効率よく使うためのインフラ設備への投資も各国で進んでいます。



8. 働きがいも 経済成長も

この目標の達成には、長期的な経済成長の継続、生産性の高い産業の拡大、労働者の収入や健康、教育、就業の平等な機会、著しく不利な立場の人をなくすこと、すべての人が適切で継続性のある生活環境にあることが重要です。不当な児童労働の解決、若者や障がい者を含む男女平等な雇用なども含まれます。



**9. 産業と技術革新の
基盤をつくらう**

生活や労働に必要な施設や設備、技術革新が、経済成長と開発に必要です。都市部がこれらインフラの恩恵を受ける半面、そうでない地域も少なくありません。災害に強いインフラや持続可能な経済の発展、新しい技術の創造、経済活動を支える基盤の開発や安価にインターネットに接続できる環境の実現が求められます。



**10. 人や国の不平等を
なくそう**

性別や年齢、障がい、人種などを理由に、各国の国内や国家間でさまざまな不平等や格差問題が起きています。個人の所得格差のほか、先進国と開発途上国との経済格差の要因でもある問題を解消するために、貧しい人の収入を増やし、特定グループを差別するような法律や慣習をなくすことが目標です。



**11. 住み続けられる
まちづくりを**

すべての人が安全で住みやすい家、水や電気など必要なサービスを得られるまちや地域社会で暮らせることを目指します。また、女性や子ども、障がい者や高齢者にとっても安全で使いやすいこと、災害に強い場所にする、世界の文化遺産や自然遺産の保護、大気汚染や廃棄物の管理なども含まれます。



12. つくる責任 つかう責任

廃棄食材の量を世界全体で半分に減らす、物をつくる時に排出される有害な化学物質が水や空気や土を汚さないように管理する、ゴミを減らしリサイクルして資源化することなどを通じて、廃棄物の削減などを目標にしています。より少ない資源で良質なものを多く得る、持続可能な生産と消費の形が重要です。



**13. 気候変動に具体的な
対策を**

生活の中で CO₂ の排出などにより、地球温暖化が進んでいます。温暖化現象によって世界各地で気候が変化しています。これは、先進国や開発途上国の枠組みを超え、全世界で取り組むべき課題です。この目標では、気候変動の問題と気候変動が原因の自然災害に対する備えの強化を目指します。



**14. 海の豊かさ
を守ろう**

海洋汚染の多くは、人間の生活から発生したものが原因です。汚染を減らすには、陸上での生活習慣や活動を見直すことが必要です。また、海の環境を破壊する違法な漁業の規制、海に関連する観光や水産養殖などの管理を通じて、海洋資源の持続的な利用により経済を増大させることも目標です。



**15. 陸の豊かさ
も守ろう**

森林や草原、砂漠などの陸地が地球の表面積の約30%を覆っています。これらの生態系は、仕事、食料、燃料、医薬品などの源であり、生活に欠かせません。これを守り、再生し、持続させるために、森林を保護し、砂漠が今よりも増えないようにすることが目標です。また、絶滅危惧の動植物の保護や、生物多様性が失われることを防ぐことも含まれます。



**16. 平和と公正を
すべての人に**

持続可能な開発に向け、すべての人が参画できる平和な社会をつくり、地域や国、世界のどのコミュニティーにおいても司法を利用して安心して生活できる社会の実現が目標です。内戦や紛争など情勢不安が続く過酷な環境にいる人たちが家族と安心して生活でき、平等で暴力のない社会制度を作ることが必要です。



**17. パートナースhipで
目標を達成しよう**

すべての国が協力し合い、政策の中に1から16まですべての目標を取り入れ、目標達成のための行動や方法を強化し、促進することを目指します。それぞれの国が何をどのように取り組むのかを考えると、目標達成に向けて予算を使うこと、先進国が発展途上国の目標を達成するために支援することも目標です。





個別の目標から考えよう

目標 4

「質の高い教育をみんなに」



日本は、義務教育の小・中学校だけでなく、幼稚園や保育園、高校や専門学校、大学に至るまで、本人の希望や家庭の状況によって学習の機会を得ることができる、非常に恵まれた国です。一方、世界には、家庭の支援や本人の努力だけでは皆が平等に教育の機会を得ることができない国が多くあります。

この目標は、誰もが平等に教育の機会を得ることで、学習によって得た知識や環境により、根本的な貧困状態を解決することを目指しています。今号では、ユニセフ (unicef) ^{*1} の取り組みから活動の例をご紹介します。

活動で取り組んでみよう

BVS CS

活動の一つの例として、募金活動から「海外事情」について考えてみましょう。

ユニセフが毎年11月～12月をキャンペーン期間にしている「ハンド・イン・ハンド募金」をボーイスカウトも支援しており、これまで多くの団にご協力いただいています。街頭で「募金活動」を行う際に、その活動に関連する活動を組み合わせることで、自分たちが呼びかけた募金によって支援できる国がどのような地域や情勢にあるのかを知るなど、海外に目を向ける機会にもなります。

- なぜこの募金が必要なのか、なぜ私たちが行うのかを隊や団で考えてみる
- 募金を実施するための準備として、募金箱やチラシを作る。
- 募金の効果がイメージできるようなクイズを作る。
例：ワクチン何回分、えんぴつ何本分

■ 関連するチャレンジ章に挑戦しよう



国際：支援を必要としている世界の国を選んで、細目(4)の内容を調べてみる。



フォレストガーディアン：細目(1)に関連付けて、豊かな森につながる、水を大切にする方法を考える。

活動で取り組んでみよう

BS VS RS

2018年に開催した第17回日本スカウトジャンボリー (17NSJ) で、「識字 (文字が読めること)」をテーマに実施したプログラム (協力：石川ユニセフ協会) を参考にして活動に取り組んでみましょう。

17NSJのプログラムは、「自分たちが読めない言語だと、目の前の水が安全かどうかを確認することすら困難である」ということを体験することにより、「文字が読めないと、周りにあふれる情報や注意事項を理解できない」ということを理解する内容でした。

紛争や大きな災害の影響を被っている国の若者の識字率は、10人に3人といわれ、文字が読めないなどの理由により、生活が危険と隣り合わせの状態にある人などがいます。文字が読めることの大切さや教育を受けることができる環境の重要性、世界の社会問題などについて、以下のような活動を通じて考えてみましょう。

- 学校に通うことができず、字を読み書きすることが困難な子どもたちに対して、自分ができる支援等の方法を考える。
- 他の国の文化や言語、世界情勢について個人や班で調査する。
- 支援が必要な国や課題を調べ、関連団体の活動に参加 (奉仕) する。
- 班などで、互いに違う国の言語や暗号を使った問題を出すなどし、言葉や文字を理解することについて考える。

■ 関連する選択課目技能章に挑戦しよう



公民章：細目(6)に関連付けて、「平和」「人権」について調査し、まとめてみる。



世界友情章：細目(2)や(7)に関連付けて、支援を必要としている国について研究する。



環境保護章：細目(2)や(6)に関連付けて、安全な水の確保について考えてみる。

「行動の10年」がスタート



2015年9月の国連サミットで採択された国際目標であるSDGsは、2030年までに持続可能でよりよい世界にすることを目指しており、世界各地で進展が見られますが、2030年までにこれらの目標を達成するためには、今よりも取り組みのスピードを速め、規模を拡大していかなければなりません。

2030年までちょうど10年の今年から、SDGs達成のための「行動の10年 (Decade of Action)」

が始まります。「行動の10年」において、貧困やジェンダー、気候変動、不平等や財政格差の解消に至るまで、世界のさまざまな課題に対する持続可能な解決への取り組みを加速させることができます。ますます求められます。

これからの10年で、私たちが一人の人間として、そしてスカウトとして、どのような行動を起こしていけばいいのかを継続して考え、行動していきましょう。

*1 ユニセフ (unicef: 国連児童基金)：すべての子どもの命と権利を守るため、最も支援の届きにくい子どもたちを最優先に、約190の国と地域で活動している団体です。保健、栄養、水と衛生、教育、暴力や搾取からの保護、HIV/エイズ、緊急支援、アドボカシー (政策提言) などの支援活動を実施し、その活動資金は、すべて個人や企業・団体・各国政府からの募金や任意拠出金でまかなわれています。

■ 野外活動のための安心・安全講座

台風や豪雨から身を守る

1. 台風や豪雨災害の増加

近年、7月から10月にかけて、日本列島では台風や豪雨による大規模災害が多発しています。2019年は、9月に台風15号、10月に台風19号が関東・東北地方を相次いで襲い、各地で河川の氾濫や住宅の被害をもたらしました。また、台風だけでなく、前線やそれに伴う線状降水帯の発生が、長時間続く猛烈な雨をもたらすことも多くなっています。

こうした台風や豪雨の発生は、温室効果ガスによる地球温暖化の影響ともいわれています。災害の要因は複雑なため、地球温暖化だけが直接的な原因とはいえませんが、地球温暖化がもたらすリスク（気象災害の深刻化、水不足、食料不足等）は増大しているという科学者の意見もあります。原因はともかく、過去5年間の日本における大規模災害をまとめてみると、毎年どこかで発生していることがわかります。

「災害はいつ起こってもおかしくない」と考え、それに向けた対策を講じておく必要があることは、すべての人が認めるところでしょう。

2. 台風や豪雨災害と隊活動

過去には、ジャンボリー期間中に台風が襲来したことがたびたびありました。第2回日本ジャンボリー（1959年 滋賀・饗庭野）、第13回世界ジャンボリー（1971年 静岡・朝霧高原）、第9回日本ジャンボリー（1986年 宮城・南蔵王）では台風の直撃を受け、緊急避難を経験された方もいらっしゃると思います。

気象衛星やコンピューターの進化により、台風については進路予想がかなり正確にできるようになりました。しかし、線状降水帯による豪雨は予想が難しく、危険を感じ始めたときには避難できないほど増水してしまうことが多いのです。

対策としては入念な下見と情報の収集が大切です。キャンプの下見では、キャンプ場の施設やどんなプログラムができるかに目が向きがちですが、安全対策の確認も重要なポイントです。中洲でのキャンプなどは論外ですが、キャンプ地までの道路の状況や河川の有無、緊急時の避難場所の確保など、チェックリストを作成して下見を行うとよいでしょう。降雨予想では、気象庁のレーダー・ナウキャストや大雨・洪水警報の危険度分布、国土交通省のXRAINなどを活用することにより、ピンポイントで降水状況の確認や災害危険度を調べることができます。

気象の変化を常に監視し、場合によっては活動の中止や撤収を早めに決断することが災害から身を守ることにあります。



2018年 西日本豪雨災害

3. 日常生活で取り組む防災および減災

災害に対する備えとしては「防災」があります。日本連盟では技能章に「防災章」を新設し、「防災」「減災」に役立つ知識や技能の修得、態度の育成に取り組んでいます（本誌2020年3月号参照）。

災害が続く中で最近注目されているのが「減災」という考え方です。「減災」とは「災害による被害を最小限に抑えるための対策」のことで、災害により被害が生じてしまうことは許容しつつも、人的あるいは物的な損害を減らそうとする考え方です。「減災」は個人や地域の単位でできる活動で、その中にはスカウトが自ら取り組めるものも多数含まれています。内閣府の『減災の手引き』（2009年3月）によると、「減災のポイント」は以下の7つであるとされています。

1. 自助、共助
2. 地域の危険を知る
3. 地震に強い家
4. 家具の固定
5. 日ごろからの備え
6. 家族で防災会議
7. 地域とのつながり

ぜひ、「防災まちあるき」など、スカウト活動に生かせるアイデアを出し合ってみてください。

災害はいつ発生するかわかりません。災害が発生した時、自宅には自分しかいない状況もあり得ます。ですから、「減災」の考え方で、家族全員が備えておくことが大切です。そう、「そなえよつねに」です。

「セーフ・フロム・ハーム」・安全委員会

■ 過去5年間の台風・豪雨による大規模災害

年 月	災害名称等	死者行方不明	住宅被害	災害の状況等
2019年 10月	令和元年東日本台風（台風19号）	100人	87,400棟	阿武隈川・千曲川など氾濫
2019年 9月	令和元年房総半島台風（台風15号）	3人	77,098棟	千葉県で住宅被害。大規模停電
2019年 8月	九州北部豪雨	4人	6,687棟	巨勢川・牛津川など氾濫
2018年 7月	平成30年7月豪雨（西日本豪雨）	271人	51,110棟	広範囲同時多発的氾濫、がけ崩れ
2017年 7月	平成29年7月九州北部豪雨	41人	1,600棟以上	赤谷川・大肥川など氾濫
2016年 8月	台風7号、11号、9号、10号及び前線による大雨・暴風	31人	9,858棟	連続した台風の上陸。北海道で農業被害
2015年 9月	平成27年9月関東・東北豪雨	14人	22,780棟	鬼怒川氾濫

※死者行方不明者数および住宅被害数は消防庁、内閣府、国土交通省等の発表資料による

第13回 日本アグーナリー

13th NIPPON AGOONOREE

We Can!

ふかめよう友情! ひろげよう絆!

新型コロナウイルス感染予防のため、今夏の開催を延期することになった第13回日本アグーナリーは、4年後に下記の日程で開催します。

■日程

2024(令和6)年8月8日(木)~12日(月・祝)

■会場

福島・国立磐梯青少年交流の家

参加申し込みは、2023(令和5)年に受け付ける予定です。4年後の開催になりますが、今からぜひご予約ください。

なお、今夏開催予定だった大会の参加予定申込者からお預かりした参加予納金は、所属県連盟を通じて返金しています。返金されていない方は、所属県連盟にお問い合わせください。



4年後にお会いしましょう!!

第13回日本アグーナリー実行委員長 増子 恵二

今夏開催予定だった第13回日本アグーナリーは、参加者の皆さんの健康と安全、新型コロナウイルス感染症の今後の推移を考慮し、4年後の夏への延期が決定しました。4年後も、正面に猪苗代湖を望む標高600mの磐梯山麓に東京ドーム約4個分の広大な敷地を誇る、福島・国立磐梯青少年交流の家で開催する予定です。

今夏の開催では、スカウトが描いた絵をのぼり旗にして、皆さんをお迎える予定でした。また、場内プログラムでは、協賛企業による提供プログラムやキャンプ場の一角に設置する池での魚のつかみ取りと料理体験など多くの体験プログラムや基調講演、全国の交流の家で唯一

設置されている天体望遠鏡による観測、一日限定の花火大会なども予定していました。

さらに、会場からバスで移動する場外プログラムでは、会津の歴史めぐり(鶴ヶ城、藩校日新館、野口英世記念館)、磐梯山周辺のアウトドアスポーツ(カヌー体験、五色沼ハイキング)、地元新聞社とタイアップした障がい者の国際展覧会の見学と吾妻スカイラインドライブ、座禅体験などの準備を進めていました。

延期は大変残念ですが、4年後の開催に向け、さらに喜んでいただけるプログラムを準備して磐梯山の麓^{ふもと}でお待ちしています。4年後に皆さんとお会いできることを楽しみにしています。

信仰奨励

日日の善行は誰のため?

信仰奨励委員会 森定 信吉

私のスカウト時代の話です。ボーイ隊には「ゴミ拾いはあたりまえのことなので、奉仕や善行にならない」という独自のルールがありました。当時の私たちには、これがなかなかの難問で、ゴミ拾い以外の奉仕や善行を見つけて実践することに、結構苦労していました。

クリーン作戦を行ったある日、開会のときに団委員長が「ゴミ拾いは、単に身の回りをきれいにすることだけではなく、神様(天地自然)のお体をきれいにさせていたでいることでもあるから、心をこめて取り組みましょう。そうしたら神様がお喜びになって、私たちに『徳』というご褒美をくださいますよ」という話をしてくださりました。

当時、報いを求めない「無償の奉仕」についてはよく教えられていましたし、それまで私は、ゴミ拾いや善行は単に人のためにするのだと思っていたので、神様からご褒美がもらえるという話は新鮮で、なにかちょっと嬉しいような気持ちになったことを今でも憶えています。

昨今の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各方面から自粛要請が出され、私たちの日常生活は一変してしまいました。スカウトの行事も中止や延期になり、今まで普通に集会や活動ができていたことが、どんなにありがたいことであつたかを改めて感じさせられました。

しかし、集会ができなくとも、スカウトが家で過ごす時間がたっぷりあるということは、「日日の善行」や家事を担って生活力をつける良いチャンスです。我が団では、ラジオ体操カードのような「励み表」を作り、それぞれの家庭で目標を立てて、日々その取り組みを実践することを推奨しました。

集会の時だけでなく、いつも「日日の善行」を気にかけているということは、他の人と、さらには神仏(天地自然)とも、いつもつながっていることと同じだと思います。

世界中の国や個人が互いに協力しなければならぬ状況だからこそ、私たちスカウトは、他者に幸福を分け与える習慣をしっかりと身につけ、神様に喜んでいただけるようになりたいものだと切に思います。

ボーイスカウト

PRムービーコンテスト2020



競え、
クリエイター



● テーマ

Skill -スキル-**Entertainment** -エンターテインメント-**Scouting at Home** -おうちスカウティング-

● 作品条件

- ① ボーイスカウトのPRになる内容であること
- ② 10秒以上90秒以内であること
- ③ 他者の著作権、肖像権等を侵害していないこと
- ④ 過去に本コンテストに応募していない作品であること

● 応募資格

応募資格は以下のとおりです。

- ① ボーイスカウト運動の目的に賛同する者(加盟員である必要はありません)。

② 実施要項に同意している者。

③ YouTubeや各種SNSへの動画投稿が可能なアカウントを保有している者(本コンテストに応募するために新規取得したもので可)。

求む! こんな動画

● ボーイスカウトのPRになっているか

ムービーコンテストの一番の目標は、ボーイスカウト運動を動画で世界に発信すること。加盟員であるかどうかに関わらず、すべての人が見て楽しむことのできる動画を求めています。

● 伝えたいことがはっきりしているか

ボーイスカウトのPRになっていることはもちろん、PRとして、多様なボーイスカウトの活動の中で「何にフォーカスをあて」「何を伝えたいか」が見る人に伝わる動画を高く評価します。

● 動画が主体になっているか

動画だからこそ伝えられる魅力があると信じています。だからこそ、写真のスライドショーではない、動画ならではの表現を上手に使用している作品を高く評価します。

いよいよ募集開始!

7月1日(水)から10月31日(土)までを応募期間としています。

テーマに基づいた動画の撮影と編集ができれば、YouTubeやSNSへ投稿しましょう。投稿後、日本連盟ホームページ内の応募フォームを送信したら、応募完了!

コンテストの詳細は、ホームページをご確認ください。

<https://www.scout.or.jp/member/prmc2020/>


スカウトの日

実施日: 9月21日(月・祝)

主催: 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟

後援: 文部科学省、厚生労働省、環境省

協賛: 一般財団法人セブン-イレブン記念財団

「スカウトの日」は、環境保全や環境美化をはじめ、さまざまな活動を全国各地で実施し、スカウト運動が地域社会に根差した実践活動であることを広く社会に知ってもらうことを目的としています。

それぞれの生活を振り返り、自然環境や生物、人や社会のために、一人ひとりが今、自分にできることは何か、スカウトとして何ができるか、スローガンである「日日の善行」について改めて考え、行動を始めていきましょう。

今年は、国連が定める国際目標 SDGs に関連する活動資材を準備しています。資材申し込みは、6月末を締め切りとしておりましたが、7月9日(木)まで受け付けを延長します。団内で「担当者」を1人決めて



いただき、団の申し込みが重複しないようにご調整のうえ、日本連盟ホームページよりお申し込みください。

資材申し込みをしない団もぜひ「スカウトの日」に参加して、その取り組みをWEBから活動報告してください。

<https://www.scout.or.jp/member/scoutday-2020/>


2020年度「スカウトの日」
バッジデザイン
決定!

埼玉県連盟 坂戸第2団
ベンチャースカウト

平出 万琴さんの作品

※ 作者の了承を得て、一部修正いたしました。

今年は、「おうちスカウティング」の取り組みとして多くの方からご応募いただきました。たくさんのご応募、ありがとうございました。

青森 □小学生記者大活躍！

青森第1団 ボーイ隊長 三浦 雅人

東奥日報社が発行する「東奥こども新聞」は、県内の小学5、6年生55人が記者を務める、全国でもあまり例をみない新聞です。この度、小学生記者である当団くまスカウトの中島みおさんによる取材記事が掲載されました。団キャンプ場での隊集会「巣箱作り」を取材したものです。

中島記者は、ボーイスカウトの運動の成り立ちや構成、当団の状況のほか、集会でのインタビュー、写真などを限られたスペースにきちんとまとめて、大人顔負けのすばらしい記事に仕上げ、小学生記者としての技量を遺憾なく発揮しました。

ボーイスカウト青森第1団
団員同士交流深め
 【青森市浪館小5年生 男女ともに小学1年生から大学生までと、指隊】、小学3〜5年生が「カブ隊」、小学6年生から中学3年生が「ボーイ隊」、高校生が「ベンチャー隊」、大学生が「ローパー隊」という構成になっている。活動内容は、テント設置や野外活動、手旗信号など、年齢や経験に応じて各隊ごとにプログラムを展開（てんか）している。カブ隊に所属する長島小学校5年の佐々木蒼太君は「夏休みに岩木山でおこなったキャンプが楽しかった」と話し、ボーイスカウト団員同士のふれあいがいかに残っているという。カブスカウト隊々長の葛西佳子さん(52)は「ボーイスカウト活動で子どもたちが成長していく過程を見られるのがうれしい」と話した。

野外活動で巣箱作りにはげむカブ隊のメンバー

東奥日報社「東奥こども新聞」(2020.1.30)

ローカルホットライン
Local Hot Line

団・地区・都道府県連盟だより

- ……団
- ☒……地区
- ……都道府県連盟
- ◇……その他

石川 □団の広報活動

松任第1団 カブ隊長 若林 邑雄

松任第1団では、2月8日(土)から24日(月)まで、スカウト募集時期にあわせた活動展「参加したくなるボーイスカウト活動とSDGs展」を開催しました。

市民の皆さんに少しでもボーイスカウトを理解していただくということを趣旨に、ボーイスカウトの活動と国連のSDGs、世界スカウト機構の「SCOUTS for SDGs」などについて展示。特に、展示内容にはスカウト用語をなるべく使わず、写真などに説明を多くつけることで分かりやすくするよう気をつけました。



鹿児島 □厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰を受賞

鹿児島第18団 団委員 有村 実弘

2019年11月23日(土・祝)に鹿児島市民文化ホールにて「令和元年度麻薬・覚醒剤乱用防止運動九州地区大会」が盛大に開催されました。

当団は毎年6月に「ダメ。ゼッタイ。普及運動」ヤング街頭キャンペーンに参加し、薬物乱用に関する理解と認識を高めるため、国連支援募金を行っています。この事業には、はじめは当団を含め、鹿児島市内のいくつかの団のみの参加でしたが、近年は他の市内各団へも波及し、多くの団が参加するまでに至っています。

この長年の活動に対し、今回の式典において、当団が厚生労働省医薬・生活衛生局長表彰を受賞しました。これは、スカウト、指導者、保護者による長年にわたる奉仕活動の賜物です。

式典では、水谷修氏による講演「さらば、哀しみのドラッグー夜回り先生、いのちの授業」もあり、薬物についてより深く知る機会になりました。薬物が自分のすぐ手に取れるところにある怖さや、依存症で人生をダメにするなど、大変勉強になるお話でした。



千葉 ■ 献血協力の呼びかけ

船橋第3団 ボーイ隊長 鈴木 泰弘

当団では、JR 船橋駅前の「献血ルームフェイス」（船橋FACEビル7階）と協力し、2019年の1年を通じて献血の呼びかけを行いました。

最初はベンチャースカウトが献血ルームと打ち合わせのうえ呼びかけを行い、以降はベンチャー隊主導のもと、カブ隊、ボーイ隊も呼びかけに参加しました。

その活動の様子が、千葉県赤十字血液センターの広報誌「ドナー通信 No.100」に掲載されました。



ドナー通信 No.100 (2020.3 千葉県赤十字血液センター発行)

北海道 ▫ 地区で B-P 祭を開催

釧路地区 事務局 伊東 義晃

釧路地区では、毎年 B-P 祭を開催しています。59回目の開催となる今年は2月16日(日)に開催し、その様子が釧路新聞に掲載されました。

来年は60回の節目を迎えます。今後一つひとつ大切な時間をみんなで共有していきたいと思ひます。



日本ボーイスカウト北海道 区委員長は16日、釧路市道連舘釧路地区(田中卓地 総合福祉センター)で第59回

ボーイスカウトの志新た
釧路地区「ちかいとおきて」唱和
B-P祭

第59回 釧路地区BP祭
日本ボーイスカウト北海道連舘釧路地区委員会

ちかいとおきてを唱和し、キャンドルに火をともしスカウトら

釧路地区B-P祭を開き、「ちかいとおきて」を唱和してボーイスカウト活動の志を新たにしました。

B-P祭はボーイスカウトの創始者、バーデン・パウエル卿の誕生日(2月16日)に合わせて各地区で行われている。国旗儀礼、連盟歌「花はかおるよ」の斉唱に続き、地区協議会長の蝦名大也釧路市長が「先輩が後輩の姿を、後輩は先輩の姿を見ながら学んでいる活動を大変心強く思っている。一つ一つの活動を自分の中に取り入れながら大人にな

「自分自身を高める言葉です」「互いに助け合います」「すんで良いことします」「目標と志をスカウトらが強く唱和した。田中地区委員長は「バーデン・パウエル卿の言葉に『自分を幸せにするためには周りの人を幸せにする』ことが大切だ」という言葉がある。自分がみんなから認められるようにこれからも活動してほしい」と述べた。(伊東義晃)

釧路新聞(2020.2.17)

静岡 ■ 富士スカウトが県知事を表敬訪問しました

県連盟理事長 村松 武博

当県連盟では、2019年に12人の富士スカウトが誕生しました。そのうちの8人が、本年3月25日(水)に静岡県連盟連盟長でもある川勝平太県知事を表敬訪問しました。

代表スカウトは、これまでの出会いと学びを活かして今後も成長していくことを誓い、川勝知事から激励の言葉を頂戴しました。



静岡新聞 (2020.3.27)

その他 ◇ アマチュア無線で、おうちスカウティング!

日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ 吉田 信昭

日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ JA1YSS は、5月5日(こどもの日)に、ラジオスカウティング・オンエアーミーティングを急遽開催いたしました。

東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城の一部四県からスカウト社団9局の賛同を得て、午前と午後の同時刻に、スカウトが運用しやすい430MHz FMの電波で、多くのスカウト個人局とアマチュア無線を用いて交信し、おうちスカウティングを楽しみました。

次回は10月のJOTAです。たくさんのスカウト局との無線交信を楽しみにしています。



- 【参加スカウト社団局】
- 日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ JA1YSS
 - 日本ボーイスカウトアマチュア無線クラブ東京 JH1YSS
 - 日本ボーイスカウト神奈川連盟横浜地区アマチュア無線クラブ JQ1ZTU
 - ボーイスカウト千葉県連盟アマチュア無線クラブ JJ1YXI
 - ボーイスカウト文京1団アマチュア無線クラブ JO1YTU
 - ボーイスカウト文京6団ハムクラブ JJ1ZLK
 - 日本ボーイスカウト川越第9団アマチュア無線クラブ JI1ZZS
 - ボーイスカウト入間第3団アマチュア無線クラブ JL1YCF
 - ボーイスカウト小平第1団アマチュア無線クラブ JI1ZRC

維持会員 (敬称略) スカウト運動を財政面からご支援いただいている個人・法人会員の皆さまです。

ご支援ありがとうございます 2020年3~4月度

【北海道】 BS上川地区協議会	【神奈川】 小野 康雄	B S 国分寺 2	B S 半田 1 1	福田 雅之
【岩手】 向井田 敏宏	白倉 栄太郎	B S 三鷹 2	B S 江南 1	【鳥取】 高嶋 壮司
【宮城】 荒井 嘉光	川原 滋彌	川合 逸平	B S 幸田 3	B S 武豊 2
【茨城】 若山 藤男	坂本 健	藤本 欣司	B S 半田 5	【島根】 澤 真吾
【栃木】 新井 政一郎	野田 千恵子	多田 孝元	B S 新城 3	【岡山】 二宮 雄一
BS栃木県連盟	鈴木 久仁夫	赤澤 学	【三重】 田口 竜太郎	【徳島】 小山 義雄
【群馬】 今井 健介	鬼頭 宏	吉田 昌司	中富 博司	天羽クリニック
藤井 春俊	山岸 雅人	B S 横浜 9 4	下条 展大	BS伊賀1育成会
桑原 和子	B S 相模原 1 0	【山梨】 三井 啓一郎	BS砺波地区	ミル ク (有)
【埼玉】 山崎 哲男	須田 次義	齋藤 政之	B S 富山地区	岡田 正樹
BSさいたま219	BS S 川口 1 9	BS埼玉県育成会	【石川】 大橋 友啓	【滋賀】 渡邊 大輔
【千葉】 森屋 啓	海老坪 聡	中村 ちひろ	【岐阜】 木村 芳郎	【兵庫】 山村 利勝
相田 剛	B S 八千代 2	廣瀬建築研究所	【静岡】 兼子 孝宏	三谷 晴彦
根本企画工業(株)	上森 俊治	平塚 吉直	【奈良】 高橋 成男	梅田 華奈
葛東工業(株)	川口 正博	BS富士宮地区	松浦 幸夫	【宮崎】 豊秀 昌彦
		世界救世教	田村 聡子	武末 雄二
		スカウト協議会	小林 好治	【日本】 勝久 和
		(株)フ・シー・エス	B S 葛城 1	和田 勝久
		【愛知】 渡辺 昌	(有)芝浦照明	枝村 浩平
		斉藤 茂美	【和歌山】 山本 一郎	黒田 幹雄
		永井 淳	嶋田 土郎	大山 久
		足立 純一	森下 正紀	(株)J T B
		五明 伸一	小畑 淳	パナソニック(株)
		茂木 謙二	(株)島精機製作所	プレジャー
		B S 名古屋 3 0	【大阪】 高見 篤志郎	
		B S 半田 8		

石井 琢磨	朝倉 涼介	【宮崎】 荒武 修一
白川 雅之	山本 慎太郎	【鹿児島】 諸留 貴久
成瀬 晃司	只野 太一	【日本】 水野 正人
水野 重俊	水野 高弘	野崎 秀紀
溝呂木 淳	山口 和人	細川 行徳
川村 健司	【和歌山】 中谷 新治	宗石 憲宏
大井 隆雄	【大阪】 間野 智之	大久保 清彦
木村 和幸	間野 正司	柳田 朝美
杉山 邦宏	横山 稔	増子 恵二
西山 考司	市橋 與宜	
柴山 力	【鳥取】 坪倉 顕示	
齊 鶏飼 明宏	【島根】 那須 智浩	
藤田 卓也	【山口】 小橋 克哉	
中尾 武志	高村 義則	
中島 裕次	【徳島】 石本 康樹	
高見 本子	【香川】 坂間 高博	
深田 徹	【愛媛】 高田 政則	
山崎 伊佐緒		
津田 繁		



マンスリーサポート維持会員

毎月1,000円から、クレジットカードでの自動引き落としによる維持会費のお支払いが可能です。
<https://www.scout.or.jp/support/04/>
 3~4月に入金または1年継続された方々です。

【青森】 三浦 雅人	石井 琢磨	朝倉 涼介	【宮崎】 荒武 修一
相馬 雅之	白川 雅之	山本 慎太郎	【鹿児島】 諸留 貴久
【岩手】 末永 正志	成瀬 晃司	只野 太一	【日本】 水野 正人
【福島】 安齋 精児	水野 重俊	水野 高弘	野崎 秀紀
【群馬】 河内 正美	溝呂木 淳	山口 和人	細川 行徳
【埼玉】 細井 京逸	川村 健司	【和歌山】 中谷 新治	宗石 憲宏
【千葉】 増田 秀夫	大井 隆雄	【大阪】 間野 智之	大久保 清彦
森屋 啓	木村 和幸	間野 正司	柳田 朝美
白鳥 素也	杉山 邦宏	横山 稔	増子 恵二
若生 義行	西山 考司	市橋 與宜	
野中 浩章	柴山 力	【鳥取】 坪倉 顕示	
田中 寛	齊 鶏飼 明宏	【島根】 那須 智浩	
大作 芳績	藤田 卓也	【山口】 小橋 克哉	
伊藤 厚	中尾 武志	高村 義則	
杉崎 厚	中島 裕次	【徳島】 石本 康樹	
鈴木 奨	高見 本子	【香川】 坂間 高博	
【神奈川】 佐野 友保	【滋賀】 深田 徹	【愛媛】 高田 政則	
【東京】 山内 直元	【京都】 山崎 伊佐緒		
森谷 治男	津田 繁		
福嶋 正己			



SCOUTING

次号予告 次号の『スカウティング』は、2020年9月1日発行

今年は、例年とは異なる夏を迎えました。

世の中では、新しい生活様式が求められています。ようやく念願だった山や川や海に出かけ、野外活動が再開できたとしても、さまざまな対策や工夫が必要で、今までと変わらない活動とはいきません。ですが、どのような状況でも、スカウティングは決して止まることはありません。

今すべきこと、今だからできることを模索して、次に繋げていけるよう、皆さんと一緒に考えていきましょう。

なんでも投稿先

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟事務局『スカウティング』投稿係
 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3
 電話 03-6913-6262 (代表) FAX 03-6913-6263 Eメール scouting@scout.or.jp

投稿規定 / 本誌では読者の皆さまからの投稿を常時受け付けています。投稿が掲載された方には、掲載誌と記念品をお送りしています。投稿は、文字数400字で写真3枚を目安にしてください。新聞掲載記事は、新聞名、掲載日を明記してください。なお、お送りいただいた写真や新聞記事は原則として返却しませんのでご了承ください。お送りいただいた投稿は、抜粋しての使用や一部を編集させていただく場合があります。また掲載できない場合もあります。あらかじめご了承ください。たくさんのお投稿をお待ちしております。

日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp>

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
 『スカウティング』2020年7月号 No.738 令和2年7月1日発行 (奇数月1日発行)
 発行 公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草4-4-3 <https://www.scout.or.jp>
 『スカウティング』は、全国のボーイスカウト指導者(隊指導者、回委員、スカウトクラブ構成員、地区・県連盟・日本連盟役員)に1冊お送りしています。加盟登録住所にお送りしますので、住所の誤り、変更がある場合は回での登録住所変更の手続きをお願いします。登録システムに伴い、①4月~8月に新規、追加登録申請が承認された場合:5月号から当該月号を同封にて送付(例:8月承認の場合は9月号に5月号、7月号を同封) ②9月~翌年3月に登録申請が承認された場合:11月号から当該月号を同封にて送付。9月以降の「追加登録」で、5月号~9月号をご希望の場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部ににご相談ください。バックナンバーの在庫がある場合は有償でお送りいたします。発行月の前月10日以降は、送付作業工程に間に合わないため、当該月号は次号に同封されます。なお本誌の購読料は、登録料に含まれています。上記以外の方も別途購読いただくことが可能です。詳しくはボーイスカウト日本連盟ホームページ <https://www.scout.or.jp> から、スカウティング誌のページをご覧ください。
 ©公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 2020 写真、イラスト、記事のコピー・複製・転載を希望される場合は、日本連盟事務局社会連携・広報部(代表 TEL:03-6913-6262)までご連絡ください。

SCOUTING

デジタル配信しています!



機関誌『スカウティング』のデジタル版(PDF)を、読者の皆さんを対象に配信しています。デジタル版は、文字もそのままコピーできますので、さまざまな資料に、より簡単に引用できるほか、タブレット端末などに入れ、いつでも読むことができます。ぜひご利用ください。

通常はIDとPASSを入力していただいておりますが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動への臨時措置としてパスワードを解除します。ぜひスカウトや保護者の皆さまにもご案内ください。自宅におけるスカウト活動などにもお役立ていただければ幸いです。



URL: <https://www.scout.or.jp/scoutingmagazine/issue/>
 ID: scouting-magazine
 PASS: sonaeyotuneni

再び、野外へ。

キャンプは不便を楽しむなんてよく言うけど、
本当はそれが地球の「リアル」で、
今は、すべてが恋しい。

土のにおい、鳥の声、川のせせらぎ、炎の揺らめき、
雨の冷たさ、太陽の温かさ、心躍る冒険、
自分で登らないと見えない景色、仲間たちとの絆。

みんなでキャンプに行ける日のために、
ロープワークに、道具の手入れ、地図にコンパス、
今日も1人で特訓中。

少しずつ、1人から。再び野外へ、動き出そう。

ハーフパンツやキュロットスカートが制服に仲間入り。
詳しくはホームページ等をご確認ください。



ONLINE SCOUT SHOP 4月1日よりオープン。
より効率的な時間の使い方や、飛沫感染予防のため、ぜひご利用ください。
<https://www.scoutshop.jp/> (下のQRコードよりアクセスできます)

そなえよつねに。足りないものは“SCOUT SHOP”で！

SCOUT SHOP JAPAN

Official Shop of the Scout Association of Japan



※活動は日本連盟コミッショナーからの発信や、ご所属の連盟からの通達を基に行ってください。



あなたのねこちゃんと
CIAO^{チャオ}ちゅ~るCM
を作ろう!



お手持ちのスマートフォンで簡単に、CIAOちゅ~るのCMが作れるアプリ「ちゅ~るメーカー」ができました。飼い主さんが監督で、猫ちゃんが主演。あなただけの可愛らしいちゅ~るCMを是非作ってみてください。作ったCMをハッシュタグ【#ちゅ~るメーカー】を付けてSNSに可愛らしい動画をどんどん投稿してください。

<p>STEP 1 名前を入れよう</p> <p>猫ちゃんの名前を入力してください。</p>	<p>STEP 2 地域を入れよう</p> <p>住んでいる都道府県名を入力してください。</p>	<p>STEP 3 動画を撮影しよう</p> <p>ちゅ~るシーンの撮影開始。納得のいく3カットを撮影してください。</p>	<p>STEP 4 投稿しよう</p> <p>CMが完成したら、「#ちゅ~るメーカー」を付けてSNSに可愛らしい動画をどんどん投稿してください。</p>
--	---	--	--



ちゅ~るメーカー



本サービスの利用にはアプリのダウンロードが必要になります。通信料金は利用者負担になります。必ず利用規約を確認し、承諾のうえでご利用ください。AppleとAppleロゴは米国及び他の国で登録されたApple Inc.の商標です。Apple StoreはApple Inc.のサービスマークです。Google Play、Google Playロゴは、Google Inc.の商標です。

いなば食品は、自然環境や動物を大切にしているボーイスカウト運動を応援しています